

2009年11月24日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 社会福祉法人武蔵野会
武蔵野児童学園

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

武蔵野児童学園・職員一泊二日研修

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

- 応募申請書に記載のもので可。
- 職員の日頃の慰労と親睦を兼ね、一部を研修としてケースカンファレンスと施設見学を組み込んだ一泊二日の旅行を実施します。施設見学は職員の関心の高い「情緒障害児短期治療施設」としました。全職員の参加は無理なので2回に分かれて行います。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- 当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。
- <一日目>9:00武蔵野児童学園、貸切マイクロバスで出発、11:30熱海アカオハーブ・ローズガーデン見学、昼食 14:00ホテル到着 14:30~16:30ホテル内の会議室にて「ケースカンファレンス」を実施、18:00 夕食 親睦会
- <二日目>9:30ホテル出発 11:30江ノ島の近くで昼食、13:00 横浜いずみ学園(情緒障害児短期治療施設)見学、子どもの虹情報研修センター(日本虐待・思春期問題情報研修センター)見学 15:30出発
- 17:30 武蔵野児童学園に到着

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

「ケースカンファレンス」については、1班は児童棟から本館に移る中1男子のケースで、引き継ぎを兼ねて取り上げました。2班は新入所予定の中1、小4の姉妹のケースを取り上げ、ジェノグラフを作成しながら、受け入れ時の確認事項を抽出していきました。ローテーション勤務では一堂で会する機会がないので、ハーブ・ローズガーデンの散歩で癒され、懇親会では会話が弾み、遅くまで交流が続けられました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

2組とも実施日は天気に恵まれ、湘南の海の美しい輝きに癒やされ、見学先の施設では細かな説明と丁寧な案内をして頂き、当学園の環境整備で考えさせるものが数多くありました。新型インフルが流行っている最中で、見学の中止も考慮しましたが、全員マスク、消毒をして見学させてもらいました。予定とおりの行程で、研修、見学ができ、また職員の親睦を深めるといった目的が十分に果たせたと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



1班・会議にての
「ケースカンファレンス」



1班、見学先の「横浜いずみ
学園」玄関